



平成20年9月期 第3四半期財務・業績の概況(非連結)

平成20年8月12日

上場会社名 日本乾溜工業株式会社 上場取引所 福岡証券取引所
 コード番号 1771 URL <http://www.kanryu.co.jp/>
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)内倉 貢
 問合せ先責任者 (役職名)代表取締役専務管理本部長 (氏名)西村 博 TEL (092)632-1050

(百万円未満切捨て)

1. 平成20年9月期第3四半期の業績(平成19年10月1日～平成20年6月30日)

(1) 経営成績 (％表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
20年9月期第3四半期	8,713	5.3	359	77.0	359	78.6	368	95.5
19年9月期第3四半期	8,273	2.6	203	△7.5	201	△11.7	188	△65.4
19年9月期	10,101	—	133	—	126	—	109	—

	1株当たり四半期(当期)純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益	
	円	銭	円	銭
20年9月期第3四半期	72	16	29	81
19年9月期第3四半期	36	91	15	25
19年9月期	21	44	8	86

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%	円	銭
20年9月期第3四半期	6,046		1,534		25.4	104	87
19年9月期第3四半期	6,319		1,305		20.7	59	80
19年9月期	5,317		1,199		22.6	39	4

(3) キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
20年9月期第3四半期	611	23	△165	1,128
19年9月期第3四半期	491	△82	△5	1,077
19年9月期	74	△52	△36	658

2. 配当の状況

	1株当たり配当金	
基準日	第3四半期末	
	円	銭
19年9月期第3四半期	—	—
20年9月期第3四半期	—	—

3. 平成20年9月期の業績予想（平成19年10月1日～平成20年9月30日） 【参考】

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通 期	10,500	3.9	190	42.5	180	42.6	185	69.1	36	27

(注) 通期の1株当たり当期純利益は、優先株式の配当金が未定であるため、優先株式の配当金を考慮せずに算出しております。

4. その他

- (1) 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有
 (2) 最近事業年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無

[(注) 詳細は、【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。]

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

当資料に記載の業績予想見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報による判断及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 経営成績に関する定性的情報

当第3四半期（平成19年10月1日～平成20年6月30日）の業績につきましては、売上高は、第2四半期までに完工しました有明海沿岸道路関連工事をはじめとする大型工事が寄与し、87億13百万円（前年同四半期比5.3%増、4億40百万円増）を計上することができました。

営業利益につきましては、売上高が増加したことに加え、建設工事における物件ごとの原価管理を徹底できたことで、売上総利益率が前年同四半期に比べて1.0ポイント向上したことにより、3億59百万円（同77.0%増、1億56百万円増）を計上することができました。

四半期純利益につきましては、北九州市八幡西区築地町の旧本社事務所の売却等により固定資産売却益を55百万円計上したものの、株式市場の低迷により投資有価証券評価損を36百万円計上したため、3億36百万円（同95.5%増、1億79百万円増）となりました。

なお、当社の売上高は、通常の営業形態として1月から3月までの第2四半期に集中するという季節的変動があります。

2. 財政状態に関する定性的情報

(1) 資産、負債、純資産の状況

当第3四半期末の総資産につきましては、60億46百万円（前期比13.7%増、7億28百万円増）となりました。その主な要因は、通常の営業形態として当社の売上高が1月から3月までの第2四半期に集中する季節的変動があるために現金及び預金、売上債権並びに仕入債務が増加したことによるものであります。

流動資産につきましては、36億27百万円（同31.4%増、8億66百万円増）となりました。その主な要因は、受取手形が増加したこと、また、売上債権回収により現金及び預金が増加したことによるものであります。固定資産につきましては、24億18百万円（同5.4%減、1億37百万円減）となりました。その主な要因は、北九州支店移転に伴う土地及び事務所等の取得があったものの、北九州市八幡西区築地町の旧本社事務所を売却したことにより有形固定資産が44百万円減少したこと、また、投資有価証券の時価下落により評価額が91百万円減少したことによるものであります。

負債につきましては、45億11百万円（同9.6%増、3億94百万円増）となりました。その主な要因は、支払手形・工事未払金等が増加したことによるものであります。

純資産につきましては、15億34百万円（同28.0%増、3億35百万円増）となりました。その主な要因は、四半期純利益3億68百万円を計上したことによるものであります。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第3四半期末の現金及び現金同等物の残高は、期首残高に比べて4億69百万円増加し、11億28百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動による資金の増加は、6億11百万円となりました。その主な要因は、税引前四半期純利益3億78百万円を計上したことに加え、売上債権の増加が4億15百万円であったのに対し、仕入債務の増加が7億75百万円であったために資金が7億38百万円増加したこと、また、元請工事の完工により未成工事受入金等が減少したことにより資金が1億40百万円減少したことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動による資金の増加は、23百万円となりました。その主な要因は、北九州市八幡西区築地町の旧本社事務所の売却により資金が2億63百万円増加したものの、旧本社事務所内にありました北九州支店の移転先の土地及び事務所の取得等により資金が2億39百万円減少したことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による資金の減少は、1億65百万円となりました。これは営業活動による資金により借入金の返済を行ったことによるものであります。

3. 業績予想に関する定性的情報

平成20年9月期の業績予想につきましては、本日（平成20年8月12日）公表の「通期業績予想修正に関するお知らせ」をご参照ください。

4. その他

会計処理の方法における簡便な方法の採用

実地たな卸の省略等、一部簡便な方法を採用しております。

5. (要約) 四半期財務諸表

(1) (要約) 四半期貸借対照表

(単位：百万円、%)

科 目	前年同四半期末 (平成19年9月期 第3四半期末)	当四半期末 (平成20年9月期 第3四半期末)	増 減		(参 考) 前期末 (平成19年9月期末)
	金額	金額	金額	増減率	金額
(資産の部)					
I 流動資産					
1. 現金及び預金	1,056	1,108	51	4.8	638
2. 受取手形・完成工事 未収入金等	2,310	2,135	△174	△7.6	1,710
3. 未成工事支出金	194	230	35	18.3	282
4. その他たな卸資産	125	139	14	11.1	110
5. その他	55	38	△17	△31.8	38
貸倒引当金	△24	△25	△1	4.2	△20
流動資産合計	3,720	3,627	△92	△2.5	2,761
II 固定資産					
1. 有形固定資産					
(1) 建物・構築物	718	685	△32	△4.5	714
(2) 機械装置・運搬 具・工具器具	56	98	42	75.8	58
(3) 土地	943	887	△55	△5.9	943
(4) 建設仮勘定	—	0	0	—	1
有形固定資産合計	1,717	1,673	△44	△2.6	1,717
2. 無形固定資産	13	19	5	40.4	18
3. 投資その他の資産					
(1) 投資有価証券	621	491	△129	△20.8	583
(2) 差入保証金	209	211	2	1.1	210
(3) その他	148	146	△1	△1.2	164
貸倒引当金	△110	△123	△13	12.3	△138
投資その他の資産合計	868	726	△142	△16.4	820
固定資産合計	2,599	2,418	△181	△7.0	2,555
資産合計	6,319	6,046	△273	△4.3	5,317

(単位：百万円、%)

科 目	前年同四半期末 (平成19年9月期 第3四半期末)	当四半期末 (平成20年9月期 第3四半期末)	増 減		(参 考) 前期末 (平成19年9月期末)
	金額	金額	金額	増減率	金額
(負債の部)					
I 流動負債					
1. 支払手形・工事未払金等	2,511	2,444	△67	△2.7	1,668
2. 短期借入金	894	699	△194	△21.8	889
3. 未払法人税等	12	14	2	17.9	17
4. 未成工事受入金	230	73	△157	△68.1	217
5. 賞与引当金	30	35	4	13.0	—
6. 株主優待引当金	—	—	—	—	1
7. その他	118	114	△3	△2.8	158
流動負債合計	3,798	3,382	△415	△11.0	2,953
II 固定負債					
1. 長期借入金	477	475	△1	△0.4	451
2. 退職給付引当金	619	561	△58	△9.4	598
3. 役員退職慰労引当金	32	40	8	26.8	34
4. 繰延税金負債	88	51	△36	△41.4	80
固定負債合計	1,216	1,128	△87	△7.2	1,164
負債合計	5,014	4,511	△503	△10.0	4,118
(純資産の部)					
I 株主資本					
1. 資本金	913	413	△500	△54.7	913
2. 資本剰余金					
資本準備金	500	500	—	—	500
その他資本剰余金	—	181	181	—	—
資本剰余金合計	500	681	181	36.3	500
3. 利益剰余金					
その他利益剰余金					
繰越利益剰余金	△239	368	607	—	△318
利益剰余金合計	△239	368	607	—	△318
4. 自己株式	△0	△0	△0	58.8	△0
株主資本合計	1,174	1,463	289	24.6	1,095
II 評価・換算差額等					
その他有価証券評価差額金	130	71	△59	△45.2	104
評価・換算差額等合計	130	71	△59	△45.2	104
純資産合計	1,305	1,534	229	17.6	1,199
負債純資産合計	6,319	6,046	△273	△4.3	5,317

(2) (要約) 四半期損益計算書

(単位：百万円、%)

科 目	前年同四半期 (平成19年9月期 第3四半期)	当四半期 (平成20年9月期 第3四半期)	増 減		(参 考) 前期 (平成19年9月期)
	金額	金額	金額	増減率	金額
I 売上高	8,273	8,713	440	5.3	10,101
II 売上原価	7,010	7,299	289	4.1	8,550
売上総利益	1,262	1,413	150	11.9	1,550
III 販売費及び一般管理費	1,059	1,053	△5	△0.6	1,417
営業利益	203	359	156	77.0	133
IV 営業外収益	29	30	0	2.7	34
V 営業外費用	31	30	△0	△2.6	42
経常利益	201	359	158	78.6	126
VI 特別利益	7	55	47	653.5	7
VII 特別損失	9	36	26	262.4	10
税引前四半期(当期) 純利益	198	378	179	90.5	123
法人税、住民税及び 事業税	10	10	0	0.6	14
法人税等調整額	△0	△0	0	△80.6	△0
四半期(当期)純利益	188	368	179	95.5	109

(3) (要約) 四半期株主資本等変動計算書

前年同四半期(自 平成18年10月1日 至 平成19年6月30日)

(単位:百万円)

	株主資本					評価・換算 差額等	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他 有価証券 評価差額金	
		資本準備金	その他利益 剰余金 繰越利益 剰余金				
平成18年9月30日残高	913	500	△427	△0	985	114	1,099
当四半期の変動額							
四半期純利益	—	—	188	—	188	—	188
株主資本以外の項目の 当四半期の変動額(純額)	—	—	—	—	—	16	16
当四半期の変動額合計	—	—	188	—	188	16	205
平成19年6月30日残高	913	500	△239	△0	1,174	130	1,305

当四半期(自 平成19年10月1日 至 平成20年6月30日)

(単位:百万円)

	株主資本					自己株式	株主資本合計
	資本金	資本剰余金		利益剰余金			
		資本準備金	その他 資本剰余金	その他 利益剰余金 繰越利益 剰余金			
平成19年9月30日残高	913	500	—	△318	△0	1,095	
当四半期の変動額							
減資	△500	—	500	—	—	—	
その他資本剰余金の 取崩による欠損填補	—	—	△318	318	—	—	
四半期純利益	—	—	—	368	—	368	
株主資本以外の項目の 当四半期の変動額(純額)	—	—	—	—	—	—	
当四半期の変動額合計	△500	—	181	368	—	368	
平成20年6月30日残高	413	500	181	368	△0	1,463	

	評価・換算 差額等	純資産合計
	その他 有価証券 評価差額金	
平成19年9月30日残高	104	1,199
当四半期の変動額		
減資	—	—
その他資本剰余金の 取崩による欠損填補	—	—
四半期純利益	—	368
株主資本以外の項目の 当四半期の変動額(純額)	△32	△32
当四半期の変動額合計	△32	335
平成20年6月30日残高	71	1,534

前期(自 平成18年10月1日 至 平成19年9月30日)

(単位：百万円)

	株主資本					評価・換算 差額等	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他 有価証券 評価差額金	
		資本準備金	その他利益 剰余金 繰越利益 剰余金				
平成18年9月30日残高	913	500	△427	△0	985	114	1,099
当期の変動額							
当期純利益	—	—	109	—	109	—	109
自己株式の取得	—	—	—	△0	△0	—	△0
株主資本以外の項目の 当期の変動額(純額)	—	—	—	—	—	△10	△10
当期の変動額合計	—	—	109	△0	109	△10	99
平成19年9月30日残高	913	500	△318	△0	1,095	104	1,199

(4) (要約) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前年同四半期 (平成19年9月期 第3四半期)	当四半期 (平成20年9月期 第3四半期)	(参 考) 前期 (平成19年9月期)
区分	金額	金額	金額
I 営業活動によるキャッシュ・フロー			
税引前四半期(当期)純利益	198	378	123
減価償却費	36	49	50
固定資産売却損益(売却益：△)	5	△55	5
貸倒引当金の増減額(減少：△)	△2	△9	21
退職給付引当金の減少額	△42	△37	△62
役員退職慰労引当金の増加額	6	6	8
株主優待引当金の増減額 (減少：△)	—	△1	1
賞与引当金の増加額	30	35	—
受取利息及び受取配当金	△9	△10	△12
支払利息	24	25	33
投資有価証券評価損	—	36	3
売上債権の増加額	△791	△415	△202
未成工事受入金等の増減額 (減少：△)	164	△140	151
たな卸資産の増減額(増加：△)	20	22	△52
仕入債務の増加額	853	775	10
その他	23	△17	27
小計	517	641	107
利息及び配当金の受取額	9	10	12
利息の支払額	△21	△26	△30
法人税等の支払額	△14	△14	△14
営業活動によるキャッシュ・フロー	491	611	74
II 投資活動によるキャッシュ・フロー			
有形固定資産の取得による支出	△56	△239	△56
有形固定資産の売却による収入	34	263	64
無形固定資産の取得による支出	△3	△2	△8
投資有価証券の取得による支出	△73	△4	△75
投資有価証券の売却による収入	12	—	15
その他	4	7	6
投資活動によるキャッシュ・フロー	△82	23	△52
III 財務活動によるキャッシュ・フロー			
短期借入金純増減額(減少：△)	285	△215	280
長期借入による収入	125	150	125
長期借入金の返済による支出	△415	△100	△441
自己株式の取得による支出	—	—	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△5	△165	△36
IV 現金及び現金同等物の増減額 (減少：△)	403	469	△15
V 現金及び現金同等物の期首残高	673	658	673
VI 現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高	1,077	1,128	658